



地域と共にある学校づくりをめざして

宝江小コミュニティ・スクールだより

令和元年10月15日 第2号 登米市立宝江小学校

第2回学校運営協議会を行いました。

仲秋の候、保護者、宝江地区の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動に対しまして、多大なる御支援・御協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

10月7日（月）に、今年度2回目となる学校運営協議会を行いました。委員の皆様には、全学年の5時間目の授業を参観をしていただき、参観後には給食の試食をしていただきました。午後の会議では、本校の教育活動や学校運営協議会からの提言の実施状況、子どもたちの様子などについて情報交換を行いました。貴重な御意見等を出していただきましたので、皆様にご紹介させていただくとともに、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。なお、第3回学校運営協議会は令和2年2月に実施予定です。

第2回学校運営協議会での説明と協議内容



1 教育活動について

読み聞かせや放課後学習会、校外学習など学習支援ボランティアの皆様から御支援をいただいている学習状況や1学期からの様々な学校行事について、校長がスライドを活用して説明を行いました。地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら、様々な教育活動が進められており、子どもたちの学力向上や安全確保につながっています。これからも、地域と共にある学校づくりを進めていきたいと思っております。

2 学校運営協議会からの提言について

(1) 親子・地域清掃活動

夏休みに行われた中田町域内の一斉清掃と関連付けて、実施をしました。参加した児童からは、「ごみがいっぱいあったので、大変でした」、「地域の人と協力をしてゴミ拾いをしたので早く終わりました」などの感想がありました。11月にも中田町内の一斉清掃が計画をされています。是非、親子での参加をお願いいたします。

(2) サンクスカードの作成（相手の良い点を見てカードを贈る）

低学年では、1学期から帰りの会で「ありがとうタイム」を設け、子ども同士で「ありがとう」を伝える場を設定しています。今月からは、全学級でカードを使って「ありがとう」を伝え合っています。今後は学校から家庭へと取組を広げて行きたいと考えています。

(3) 情報交換（委員皆様から出されたご意見や感想）

- ・いじめ問題や不登校の現状や取組については、学校から正確な情報が伝えられ、解決や改善への学校の本気度が伝わる。
- ・授業参観を見て、先生と子どもたちがうまく融合しているという印象をもった。、いじめの数が少ないというのはそういうことがあるのだと思う。良いことを認め合っていると仲良くなるのではないか。いじめもなくなると思う。
- ・宝江コミュニティのまちづくりに関しては、様々な地域で仕事をしてきた教員の知識が貴重なので、今後、学校（教職員）の協力をお願いしたい。

2学期の様々な教育活動の中で、地域の皆様には学校行事や学習支援等でたくさんの御協力をいただいています。今後とも「地域と共にある学校づくり」の仕組みである学校運営協議会（コミュニティ・スクール）に御理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。